

## コウガの森・共和から

園長 小林 崇

### 保育参観のテーマ

園周辺の田んぼに水が張られ始め、初夏の訪れを感じる季節になってきました。

先日、2・3歳児の遠足で「ぐんまこどもの国」へ行ってきました。より年齢に即した活動を行ないたいと考え、園で初めてとなる2・3歳児合同遠足でした。

帰りのバスでは保護者の皆様から、「活動が楽しかった」、「友達との関わりをみる事が出来て良かった」とのコメントをいただきました。同行した職員一同、保護者からのコメントに大きな喜びをいただいています。改めて、たくさんの参加をいただきましたことを御礼申し上げます。

また、園長としては、新任職員2名が職員の出し物などで自分の役割を果たす姿に喜びをもらいました。入園式から2ヶ月が経過し、少しずつ保育者として成長していく姿に期待を込めて、先輩保育教諭に続く人材に育てて参りたいと考えています。

さて、6月は保育参観があります。今年度は両親での申し込みが多く、保護者の方が90名程度お越しいただきます。多くの参加をいただくことに大変感謝しております。

今年度の保育参観は、①「身体を動かす保育」の実践、②「保育を伝える」をテーマに実施する予定です。園では様々な活動を行なっていますが、参観日には特にリトミックや運動遊びなど楽しく身体を動かす活動を中心に「身体を動かす保育」の実践を見ていただきます。子ども達の活動量と活動のバリエーション、担任の先生やお友達との関わりの様子を感じていただきたいと思います。

また、保育参観では例年講演会を午後に実施していましたが、今年度は前期健康診断の結果報告とクラス懇談会を行いたいと考えています。

現在、園の中では副園長を中心に、視力検査・聴力検査・身体測定・土踏まず検査などの健康診断を実施しています。検査を行なう中で子どもの成長を感じたり、子どもの成長のつまづきを発見したりするなど、検査は保育者としての気づきを得る重要な機会になっています。

これまでは検査結果を特集号で配布をし、必要に応じて個別にお話をさせていただいておりました。今年度は全家庭に向けて、検査のやり方や過程、結果のご報告をさせていただき、健康診断の結果を丁寧にお伝えさせていただきます。

健康診断結果報告やクラス懇談会を通じて、子どもの成長の喜びや課題を共有する機会をつくりたいと思っています。午後の時間にもたくさんのご参加をお待ちしています。